

被ばく低減対策好事例集

場 所		分 類		番 号	28-14
原子炉建屋内	RB	R 7	1 時間		
タービン建屋内	TB		2 距離		
R ZONE	R		3 遮へい		
Y ZONE	Y		4 線源の除去		
G ZONE	G		5 遠隔、ロボット化		
その他 ()	Z		6 汚染拡大防止		
			7 その他		
内 容		作業エリアでの明確な線量表示			
作業部位		タービン建屋脇			
概 略		作業エリア内の高線量箇所に表示をして、線量率の周知を行った。			
評 価 (定性・定量)	効 果		対策前	対策後	
		被ばく線量(mSv)	--	--	
		人工数(人日)	--	--	
事例詳細					

対策前 線量表示がなく、高線量率箇所で作業者が不要な被ばくをしてしまう可能性があった。

対策内容 高線量率のエリアが明確になり、低線量率の場所を活用できるため、作業者の被ばく低減となった。

表示例

